

総合学科推進部通信

第5号

令和7年3月21日

群馬県立渋川青翠高等学校

今年度の最終号では、総合学科である本校の特徴的な教育活動を振り返ります。渋川青翠高校は、来年度も様々な教育活動を通して協調性やコミュニケーション能力、問題解決能力など、これからの時代を生きていくうえで重要視される非認知能力の育成に力を入れていきます。今後とも「総合学科推進部」をよろしくお願いいたします。1年間、お世話になりました。

1年生：産業社会と人間＝「広げる」

キャンパス・企業見学やインターンシップ、福祉交流、外部講師による講話、総合学科の特長である「系列」の選択や2年次の時間割作成等をとおり、自分自身や社会を知り、未来を描き、視野を「広げて」きました。2月に実施したライフプランの発表会は、発表者だけでなく、聞く側の姿勢からも、各自の内面的な成長を感じました。



2年生：自己探究セミナー＝「深める」

外部講師を招いての「地域を知る」講座やSDGsワークショップ、分野別進路ガイダンス、志願理由書の作成・演習等をとおり、進路を見据えながら、自分自身に必要な知識や技能を「深めて」きました。特に、11月の修学旅行前後の平和学習以降、自らの在り方を深く見つめる生徒が増えたように感じます。



3年生：総合研究＝「踏み出す」

今年度は吉井高校、安中総合学園高校の代表を招き、渋川市民会館で学習成果発表会を実施しましたが、まさに総合学科ならではの教育活動の一つです。3年生はこの1年間、調査研究や発表をとおりて専門知識や技能、技術を高め、自らの生き方や在り方について深めるとともに、進路実現や新しい環境へと「踏み出し」ました。

